

# フレンドリー FRIENDLY



## 公益財団法人 大垣国際交流協会 令和3年度\*地域国際交流事業 おやこ国際理解講座～サモア編～ 一般財団法人 自治総合センター コミュニティ助成事業



▲かわいいバッグのできあがり!!



▲サモアの住宅



▲バナナの葉で作られたうちわ



▲トートバックに伝統絵柄の染付

**環境問題 SDGs**

<b>3</b> 気候変動 肥満が社会問題。 飛行機の料金が変わる?!	<b>5</b> 性別平等 性別に対する偏見がない。 ファファフィネ!
<b>14</b> 海の豊かさ ビニール袋は罰金になる! コンポストも活用。	<b>12</b> 持続可能な消費と生産 バンブーストローって知ってる??
<b>15</b> 陸の豊かさも守ろう 学校に行けない子もいる。	<b>6</b> きれいな水とトイレの健全さ 天気が悪いと茶色い水が。。。 雨水も欠かせない。
<b>4</b> 質の高い教育をみんなに	

▲サモアにおけるSDGsの取組

**サモア語に挑戦! Let's challenge in Samoan!**

こんにちは	Talofa(タロファ)
やあ!	Malo(マロ)
ありがとう	Fa'afetai(ファアファエタイ)
乾杯	Manuia(マヌイア)
さようなら	Tofa(トファ)
またね	Toe vaai(トエヴァイ)

# おやこ国際理解講座 ～サモア～

8/9(月・振休日) スイトピアセンター スイトピアホール、参加者 36人

南太平洋に浮かぶ島国のサモア独立国。2019年の「ラグビーワールドカップ」で日本と対戦したことで身近に感じる人も増えたと思います。今回は、サモアの人々の生活、伝統文化などについて、サモア生まれの長久保 カロロ 洋さんご夫妻にご紹介していただきました。



## サモアってどんな国？



首都：アピア  
人口：約 20 万人  
面積：2,830km<sup>2</sup>  
(岐阜県の約 1/4)  
平均気温：約 26.5℃  
(年間通してほぼ一定)



▲サモアの衣装を着た  
長久保 カロロ 洋さんご夫妻

## 伝統文化を大切に



サモアの女性は、技術を生かして、伝統的な工芸品を作ります。その近くには子どもが寄り添い、大人の背中、技術を見て育ちます。そのように伝統が継承されていきます。



▲アクセサリーや工芸品

## サモアの食事

一般的な食べ物は、「スポエシ」と言われるパパイヤのスープ、「コパイ」と言われるココナッツクリームと団子のスープ。

男性のみ作ることができる「ウム料理」もあります。バナナの葉で食材を覆って、加熱した石の上で蒸し焼きにする料理です。石窯で作るオープン料理で豚の丸焼きは、最大のごちそう。

### 食べ物



Supo Esi(スポエシ)  
→パパイヤのスープ



Kopai(コパイ)  
→ココナッツクリームと  
ココサモアの団子スープ

## 学校と子どもたちの生活

サモアの学校は、5歳で入学し、14歳までが義務教育。義務教育は無料ですが、学校行事などに別にお金が必要です。そのお金が払えないために、学校を辞める子どもが約2割います。

子どもたちは、学校に行くことが楽しみの一つ。学校は、朝7:00台に始まり、12:00ごろに終わります。子どもたちは、家に帰ると、家の手伝いをします。サモアでは、掃除機も洗濯機も電話機もないのが一般的。ほうきで掃いたり、川で洗濯をしたり。何もなくても、みんな幸せ。

### サモアの学校

プライマリースクール(小学生)  
5歳で入学1年生～8年生まで。  
カレッジ(中高一貫の学校)  
9年生～13年生まで。  
義務教育は14歳(10年生)まで。

始まりも早いけど、終わりの早い勉強の時間が短いサモアの子供たちはHAPPYかな?!



## ファッション



普段は  
このような布を巻いて  
スカートにします

男性も女性もスカート。  
足元はサンダルが正装。

## トートバッグに 伝統絵柄の染め付け体験

親子で協力してサモアの伝統模様を染め付ける体験をしました。みんな上手にできました。



▲紙面では紹介しきれないくらい、魅力たっぷりのサモアでした。

# 邯鄲市からのレポート～新型コロナウイルスとの共存～

令和3年度も、令和2年度に引き続きフレンドリーシティ交流が中止となりました。そこで、コロナ禍におけるフレンドリーシティの様子をご紹介します。今回は、中国・邯鄲市の様子についてお聞きしました。

## マイナスの影響を最小限に抑えた暮らし

中国河北省邯鄲市と大垣市は33年の長きに亘り友好関係を築き、両市の交流はすばらしい成果がありました。民間交流の中で、中日友好交流の貴重な経験を行うことができました。新型コロナウイルス感染症拡大後も、両市は互いに温かく見守り、助け合う中で、深い友情があることを改めて感じました。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、教育、消費などの日常生活から人々の考え方で、大きな変化をもたらしました。新型コロナウイルス感染症はまだ収束していません。コロナにより人々の暮らしには思わぬ“小さな幸運”が生まれました。

“コロナ後”の新しい生活様式を見据えて、科学技術の加速に力を注ぎ込みました。健康番号カード、日程番号カード(国から与えられた個人識別カード)などのビッグデータを活用したプラットフォーム化が進み、人々の生活はより便利になり、コロナのマイナス影響を最小限にすることができました。例えば、健康番号です。学校やスーパーマーケット、病院やバスに乗る時には必ずスキャンしてから中に入ります。携帯してないと、バスも乗れませんし、学校にも入れません。

もう一つは、日程番号です。昨年コロナの感染が一番ひどい時には団地や村などすべて封鎖され(いわゆる「ロックダウン」)、自由に外出できなくなりました。唯一外出が許されたのは、2日に1回の食料品の買い物でした(もちろん病院に行くのは別です)。全国民は日程番号を与えられ、スマートフォンを使い、QRコードで情報を読み取り、きちんと決まりを守っている人のみが、外出できました。例えば、決められた日以外に外出すると、路上や団地の入り口にいる見守り役の人が「昨日も買い物に行ったから今日は外出できません」と、帰らせることもありました。スマートフォンがない人は家族のものを使わないと、どこにも行けませんでした。

“学校を休校しても教育は止めない”の理念の元に、学生達は何ヶ月の間オンライン授業を受けました。時間と場所の制約がある教室方式の教育が、オンライン教育の普及によりいつでもどこでも学習できるようになりました。ほとんどコロナ前の学校生活に戻った今でも、学生は毎日マスクをつけて学校に来るのがルールになりました。



▲ 自宅で受けるオンライン授業



▲ 図書館で読書

多くの部分は元の生活に戻っていますが、今もマスク着用と健康番号などを使う生活は強いられています。新型コロナウイルス感染症が発生する前に比べ、邯鄲市民は食事をはじめ一層健康を意識した生活をするようになりました。図書館、スーパーマーケット、広場、公園などの公共施設では、人々は自主的にマスクをつけ、“他人に配慮することは、自分自身を守ること”と意識し、一定の距離を保つようにしています。床に貼られている“1メートルライン”は“安全線”と“生命線”だけではなく、心の中の“文明線”と“公衆道徳線”だと言われています。

世界中で流行っているウイルスと戦っている全ての邯鄲市民は生活における英雄です。パンデミックは未だに継続中で、制約のある生活も継続していますが、コロナの困難に立ち向かうだけでなく、コロナがもたらした新しい生活様式の中で、今まで気付かなかった事を楽しむようにしています。われわれはきっとすぐ元の生活に戻れると信じています。明けない夜はない、来ない春がないからです。



▲ 1メートルを空けて並ぶ市民

邯鄲市役所外事弁  
公室処長。

30年以上に亘り、外  
交事務に従事。  
邯鄲市と大垣市の友  
好交流事業に長年携  
わり、両市の学生交  
流のコーディネー  
トをしている。2019  
年に大垣を訪問。



王 志勇 さん

# 今年度のフレンドリーシティ交流

## ご報告

令和3年度もフレンドリーシティ派遣及び受入事業を予定しておりましたが、しかしながら、新型コロナウイルスが未だ収束を見込めないこと、また対象者が小中学生及び高校生であることを鑑み、中止することといたしました。収束した際には、来年度以降の交流事業を再開しますので、みなさまのご応募お待ちしております。

## フレンドリーシティへのビデオレター作成

フレンドリーシティ交流が2年連続で中止となったことを受け、「今できること」としてフレンドリーシティへ向けたビデオレターを作成しています。平成28年度から令和元年度の派遣事業に参加した団員の有志22人が集まり、現在作成しています。大垣の風景やメッセージなどを入れたビデオレターです。

フレンドリーシティのみなさんとまた会える日を楽しみに作成中です。



▲ビデオレター作成ミーティング

## 日本語学習支援

外国人のみなさんの日本語学習を支援しています。マンツーマン方式の日本語学習、みんなで学ぶ日本語教室を開催しています。お近くで日本語がわからず困っている人、日本語の学習をしたい人がいたら、ご紹介ください。



## 今後の予定

10月8日(金)より  
募集開始

10/23～12/11 英語基礎会話講座  
10/24～12/12 ポルトガル語基礎会話講座

- 11月 フレンドリーシティ交流 PR イベント  
外国人市民のための日本語教室  
(レベル1、レベル2、せいかつのにほんご)
- 12月 おやこ国際理解講座(第2弾)
- 1月 韓国語基礎会話講座  
中国語基礎会話講座
- 2月 地域日本語教育シンポジウム
- 3月 機関誌「フレンドリー」発行
- 通年 マンツーマン方式日本語学習支援  
相談窓口  
オンラインにほんごおしゃべりルーム

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止・延期になる場合があります。詳細はホームページ等でご確認ください。

## 大垣国際交流協会の Facebook はじめました!!

多言語に翻訳した情報など外国人市民の方への情報、当協会のイベント情報などを配信します。いいね やフォローをよろしくお願いします。



Facebook QRコード

## 大垣市在住外国人の国籍別人数表

総数: 5,511人(前号(令和3年3月号)との比較(123人減)) ※令和3年8月末現在

人数	前号(令和3年3月号)との比較	人数	前号(令和3年3月号)との比較	人数	前号(令和3年3月号)との比較	
ブラジル	2,363	-55	インド	11	3	
中国	1,176	-34	モンゴル	11	3	
ベトナム	535	-29	トルコ	9	0	
フィリピン	486	1	エジプト	8	0	
韓国又は朝鮮	280	1	ポリビア	7	2	
ペルー	142	2	カナダ	7	4	
ネパール	80	-6	イタリア	6	0	
インドネシア	74	-7	ドミニカ共和国	5	3	
ミャンマー	48	-6	ルーマニア	4	0	
スリランカ	45	2	シンガポール	4	0	
カンボジア	44	-7	イギリス	4	0	
アメリカ合衆国	41	-1	コロンビア	3	0	
タイ	36	2	コートジボワール	3	0	
パキスタン	21	0	ラオス	3	0	
バングラデシュ	17	-2	マレーシア	3	1	
台湾	12	2	パラグアイ	3	1	
					無国籍	4
						2

総人口に占める割合 3.4%

## 編集後記

新型コロナが収まる気配がない中、TOKYO2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。世界中の参加国の中には、私が知らない国からの選手団も参加しており、これほど多くの国々が一つの目的で集まり、お互いに競い合い、感動と涙を共有する美しい光景が世界中に発信されました。

真っ青な空と海、南海の小さな島国サモアからも、オリンピックに選手が8名ほど参加しました。今回の表紙と紙面では、おやこ国際理解講座のサモアを特集しました。親切で陽気な人が多い美しいサモア、行ってみたい国です。

また、邯郸市から、コロナと共存するレポートが届きました。コロナの困難に前向きに取り組まれている様子が窺われ、その徹底した取り組みに感嘆しました。ご一読ください。

マスクを着用して「フレンドリー」の編集を続けております。いつの日か、マスクが外せる日を願いつつ。

# フレンドリー No.92

編集／公益財団法人 大垣国際交流協会 広報委員会

〒503-0911 大垣市室本町5丁目51番地

スイトピアセンター学習館2階

TEL(0584)82-2311 FAX(0584)82-2314

http://www.i-oiea.jp/

[E-mail] oiea@mb.ginet.or.jp



発行／2021年9月

印刷／サンメッセ株式会社

ホームページQRコード

